



役割が変更 した場合

デジタル資産のベスト
プラクティス



cscdbs.com/jp



はじめに



推奨事項



交代



非アクティブ化



ベストプラクティス



4

ベストプラクティス

3

非アクティブ化

2

交代

1

推奨事項

i

はじめに

ドメイン、ドメインネームシステム (DNS)、デジタル証明書などの企業のデジタル資産を管理する場合、すべての管理者にとって、個人情報が一覧表示されるポートフォリオにアクセスできる人の監視が大変重要になります。セキュリティインシデントが増加し、データとプライバシー保護に関する法律が厳しくなっています。使用中のユーザー登録ログイン情報と個人情報を追跡し、セキュリティとコンプライアンスのリスクを回避するために、データを定期的に更新することがこれまで以上に重要になっています。

従業員の退職または部署異動に伴う役割変更がある場合、CSCは、すべてのベンダーポータル、ドメイン名、およびその他の資産を監査して、すべての製品およびサービスでユーザー情報を速やかに更新することをお勧めします。



推奨事項

すべてのベンダーポータルユーザーとアクセスレベルを定期的に確認することをお勧めします。組織では、ヒューマンエラーも大きなセキュリティ上の弱点となります。高レベルのセキュリティを維持するには、適切なユーザー管理ポリシーが不可欠です。



ユーザーを定期的に（少なくとも90日ごとに）監査します。

CSC Security CenterSM を使用すると、許可されたユーザーの更新を容易に表示したり要求することができ、新規ユーザーが追加された場合の通知も設定できます。



WHOISポートフォリオ情報は、少なくとも年に1回確認してください。

WHOISデータリマインダーポリシー（WDRP）に従って、WHOIS情報を最新かつ正確にすることが最善です



ソーシャルメディアアカウントを確認します。



ユーザーを忘れることを覚えておいてください。

GDPR上の忘れられる権利（「消去する権利」ルールとも呼ばれる）は、EU市民にデータの削除を要求する権限を与えます。ユーザーが使用を止める場合、セキュリティリスクとプライバシーおよびデータ保護規則の両方の面から、個人を特定できる情報を公開WHOISから削除することをお勧めします。CSCは、従業員がアクセスしたすべてのツールとサービスを監査し、古い連絡先を完全に削除してリスクを軽減するお手伝いをします。





2

交代

すべての組織において、ユーザーには通常ユーザーポータルアクセス以外に複数の責任が割り当てられることがあります。そのユーザーが実行した追加職務を検討し、それに代わる適切な人材を見つけることが重要です。

元従業員が...

- ② 更新の連絡先として記載されていませんか？
- ② 特別な通知の連絡先として記載されていませんか？
- ② ドメインWHOISの連絡先情報に記載されていませんか？
- ② 組織の請求書を受け取り、処理していましたか？
- ② セキュリティサービスに関連付けられていませんか？

これらの項目がすべて特定されると、連絡先を誰に置き換えて、それに応じてアクセス情報を更新する必要があるかを簡単に判断できます。



非アクティブ化

最初のステップとして、ユーザーの登録ログイン情報を適時に非アクティブ化することが重要です。シングルサインオン、またはフェデレーションIDを設定すると、ユーザーの登録ログイン情報を直接制御できるため、ユーザーの登録ログイン情報をすばやく無効にすることができます。

- ✓ CSCDomainManagerSM
- ✓ CSC Security Center
- ✓ ブランド保護ポータル
- ✓ DNSおよびデジタル証明書分析

また、従業員がアクセスしたすべてのサードパーティツールを追跡し、それに応じてアクセス権を更新することも重要です。

組織の変更をベンダーパートナーに伝えます。CSCは、既存のアクセス権を監査し、利用可能なすべてのプラットフォームで更新がタイムリーに完了しているか確認します。私たちが貴社の変更通知に関わる作業をお手伝いいたします。



i

はじめに

1

推奨事項

2

交代

3

非アクティブ化

4

ベストプラクティス

- ✔ ベンダーアカウントへのアクセスは、必要なユーザーのみに制限してください。ベンダーポータルで、二要素認証やIP認証などの追加のセキュリティ対策を実装できるようにします。
- ✔ ユーザー登録ログイン情報を制御するには、シングルサインオンを検討してください。
- ✔ 可能な場合はベンダーを一元管理を推奨します。ポータルとベンダーアカウントが少ないということは、管理する登録ログイン情報も少なくなります。そのため、監査や更新が簡易化されます。
- ✔ ユーザーを定期的に（少なくとも90日ごとに）監査します。CSC Security CenterSMを使用すると、許可されたユーザーの更新を容易に表示したり要求することができ、新規ユーザーが追加された場合の通知も設定できます。
- ✔ ベンダーポータルで連絡先を非アクティブ化する前に、すべての連絡先が適切に置き換えられているか確認してください。





cscdbs.com/jp [@cscdbs](https://twitter.com/cscdbs) [in CSC Digital Brand Services](https://www.linkedin.com/company/csc-digital-brand-services)

Copyright ©2021 Corporation Service Company. All Rights Reserved.

CSCはサービスを提供する会社であり、法的または財務的なアドバイスの提供はいたしません。本文書に記載されている内容は、情報提供のみを目的としています。本情報を利用するには、事前に法律および金融アドバイザーへご相談ください。